

Market Watching

発表日: 2021年2月8日(月)

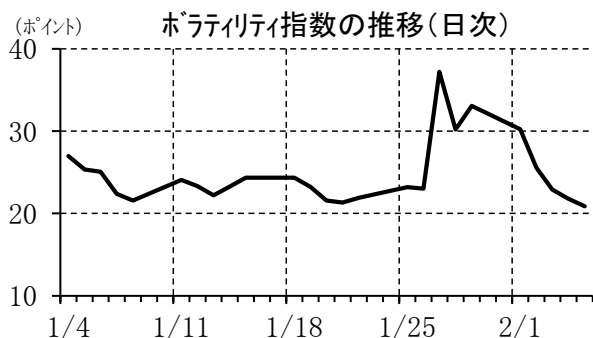
FRBは米長期金利上昇を気にかけるのか(マーケットウィークリー)
～金利上昇が続けば、割高な株価には是正圧力が働きやすくなる～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
2月1日(月)	日本: 新車販売台数(1月)・乗用車	+8.0%	—	+8.2%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数(1月)	51.5	52.6	53.0	ポイント
	ユーロ: 失業率(12月)	8.3%	8.3%	8.3%	
	米国: ISM製造業景気指数(1月)	58.7	60.0	60.7	ポイント
2月2日(火)	豪州: 金融政策委員会	0.10%	0.10%	0.10%	RBA政策金利誘導目標
	ユーロ: 実質GDP速報値(10-12月期)	▲0.7%	▲0.9%	+12.4%	前期比
	米国: 自動車販売台数(12月)	1,663	1,620	1,630	万台
2月3日(水)	タイ: 金融政策委員会	0.50%	0.50%	0.50%	翌日物ボク金利
	ユーロ: 消費者物価指数速報値(1月)・総合	+0.9%	+0.6%	▲0.3%	前年比
		+1.4%	+0.9%	+0.2%	前年比
	米国: ADP雇用統計(1月)	+174	+88	▲123	前月差、千人
2月4日(木)	ユーロ: 小売売上高(12月)	+2.0%	+2.0%	▲6.1%	前月比
	英国: 金融政策決定会合	0.10%	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利
	米国: 新規失業保険申請件数(1/30終了週)	779	830	847	千件
2月5日(金)	日本: 家計調査(12月)・全世帯実質消費支出	▲0.6%	▲2.4%	+1.1%	前年比
	日本: 景気動向指数(12月)・CI一致指数	▲1.2pt	▲1.2pt	▲0.4pt	前月差
		▲1.5pt	▲1.2pt	+2.1pt	前月差
	インド: 金融政策委員会	4.00%	4.00%	4.00%	レポレート
	米国: 雇用統計(12月)・非農業就業者数	+49	+100	▲140	前月差、千人
		6.3%	6.7%	6.7%	
		+5.4%	+5.0%	+5.1%	前年比
米国: 貿易収支(11月)	▲666	▲664	▲681	億ドル	
2月6日(土)	—				
2月7日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.164	+9.8	▲2.0	▲134.2	1.077	0.951	0.781
日本	0.055	+0.0	+4.5	+9.5	0.036	0.024	0.019
ドイツ	-0.448	+7.0	+12.9	▲8.9	-0.519	-0.558	-0.507
豪州	1.194	+6.2	+21.3	+16.2	1.107	0.980	0.921
株価							
NYダウ	31148.24	+3.9	+2.5	+6.3	30810	29887	27917
日経平均	28779.19	+4.0	+6.0	+23.4	28238	26626	24059
ユーロSTOXX50	3655.77	+5.0	+3.0	▲3.2	3595	3479	3312
上海総合	3496.33	+0.4	▲0.9	+24.1	3555	3428	3270
為替相場							
ドル/円	105.39	+0.7	+2.6	▲4.0	104.04	104.08	105.58
ユーロ/円	126.92	▲0.2	+0.5	+5.1	126.34	125.32	123.51
豪ドル/円	80.92	+1.1	+1.5	+9.2	80.15	77.98	75.84
ユーロ/ドル	1.2046	▲0.7	▲2.0	+9.5	1.214	1.204	1.170
商品市況							
WTI	56.85	+8.9	+13.9	+12.0	52.78	46.82	41.61
金	1810.9	▲2.0	▲7.3	+16.2	1856	1862	1854

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (2/1~2/5) の金融市場は、米株式市場における混乱は収束し、企業の決算発表をこなしながら、株式市場は堅調に推移した。債券市場では、株式市場の混乱収束を背景に、バイデン米大統領の大型追加景気対策実現の可能性が高まりつつあることもあって、米金利の上昇が目立った。これを受けて、為替市場では米ドルが堅調に推移した。

今週のマーケットは、市場の注目度が特に高い経済指標の発表はなく、パウエルFRB議長とラガルドECB総裁の講演が注目される。新型コロナウイルスに関しては、世界的に感染者の増加ペースが鈍化しており、景気回復の足取りに関心が集まりやすくなっている。なかでも米国では、バイデン政権下での拡張財政政策を背景に長期金利の上昇傾向が明確化しつつあり、FRBの対応には注目が集まる。昨年末にトランプ政権下で実施された追加の給付金もあり、米国経済再失速のリスクは相当程度後退しており、パウエル議長の講演内容次第では長期金利の上昇傾向に弾みがつく可能性も否定はできない。米長期金利は、実質ベースで見れば未だマイナスの水準にあるため、金利の上昇が直ちに株価を押し下げるようなものではないと判断されるものの、水準が上がるにつれて株価の割高感を是正する圧力は高まってこよう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
2月8日(月)	日本：国際収支統計(12月)・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査(1月)・先行き判断DI	★★	+11,054 35.0	+18,784 37.1	億円、原数値
2月9日(火)	日本：毎月勤労統計(12月)・現金給与総額	★	▲4.7%	▲2.2%	前年比
2月10日(水)	中国：消費者物価指数(1月) 米国：消費者物価指数(1月)・総合 ・コア	★ ★	▲0.1% +1.5% +1.5%	+0.2% +1.4% +1.6%	前年比 前年比 前年比
2月11日(木)	フィリピン：金融政策決定会合 米国：新規失業保険申請件数(2/6終了週) メキシコ：金融政策決定会合	★ ★★★★ ★	2.00% 760 4.00%	2.00% 779 4.25%	翌日物リバースルボ金利 千件 銀行翌日物金利
2月12日(金)	英国：実質GDP速報値(10-12月期) 英国：鉱工業生産(12月) 米国：ミシガン大学消費者信頼感指数(2月速報値)	★★ ★★ ★★★★	+0.5% +0.6% 80.8	+16.0% ▲0.1% 79.0	前期比 前月比 ポイント
2月13日(土)	—				
2月14日(日)	—				

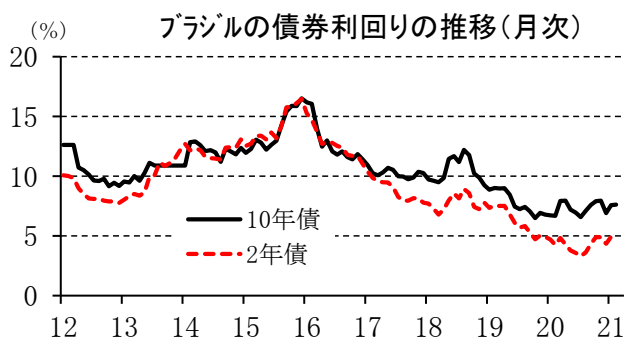
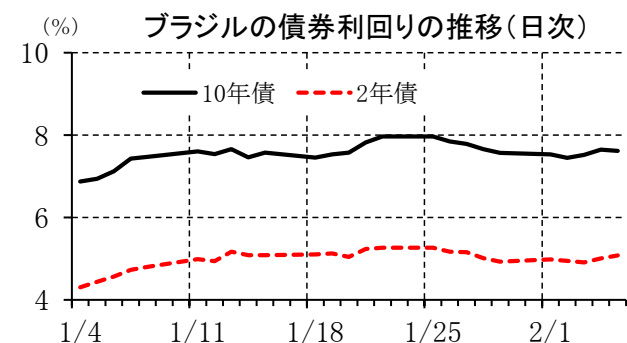
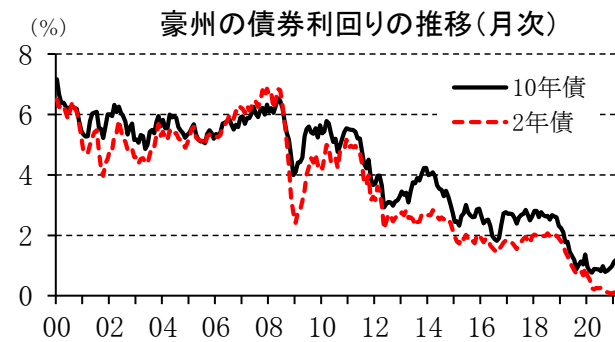
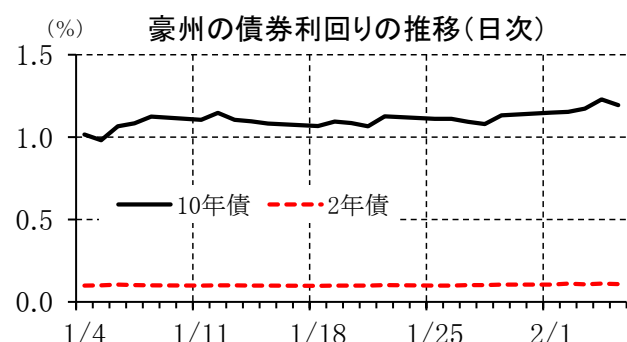
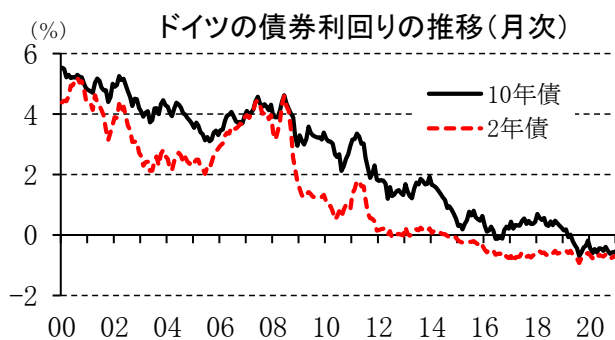
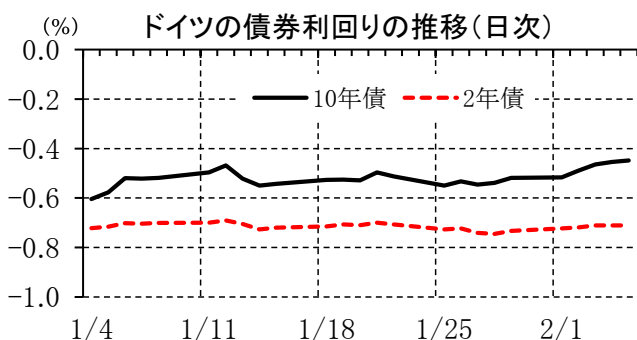
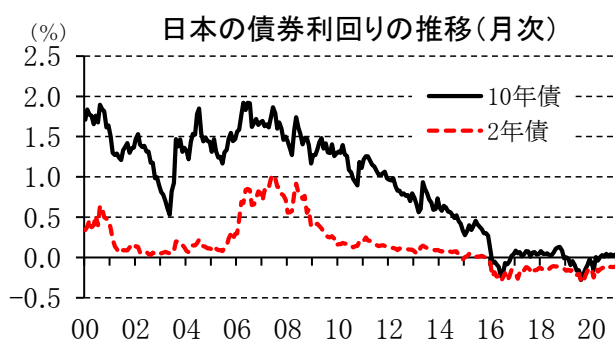
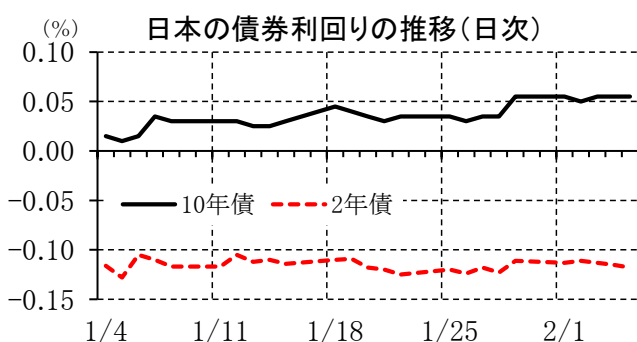
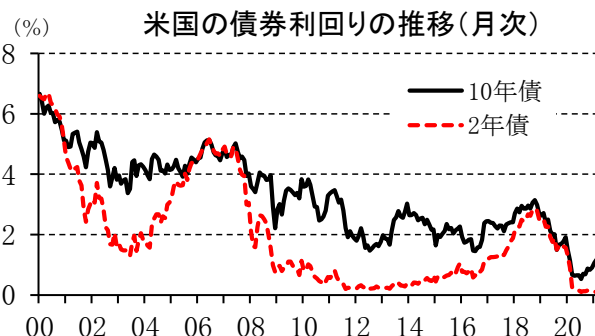
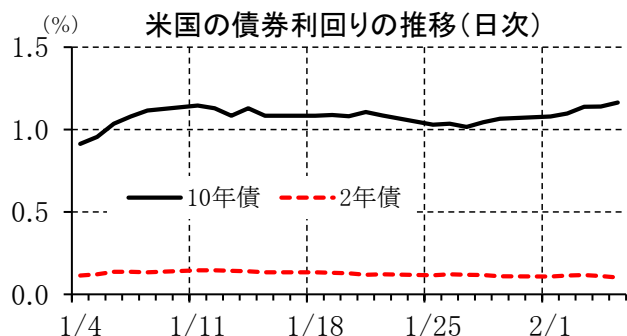
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

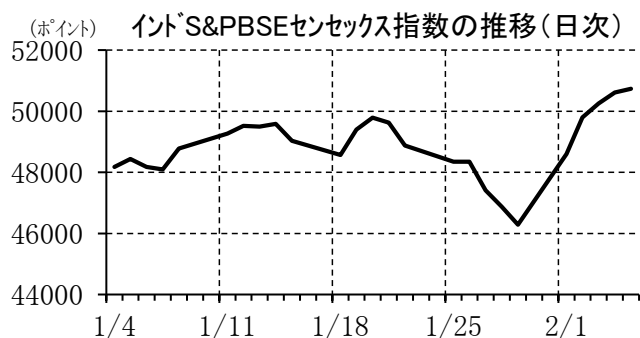
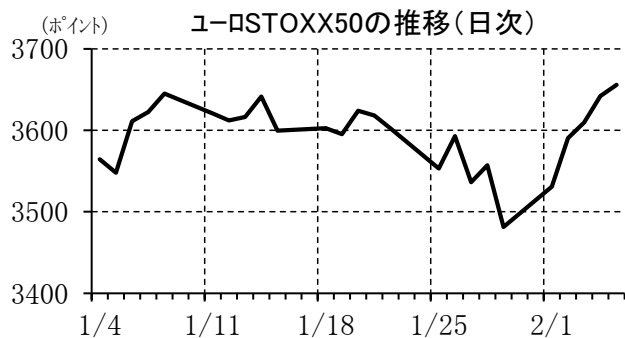
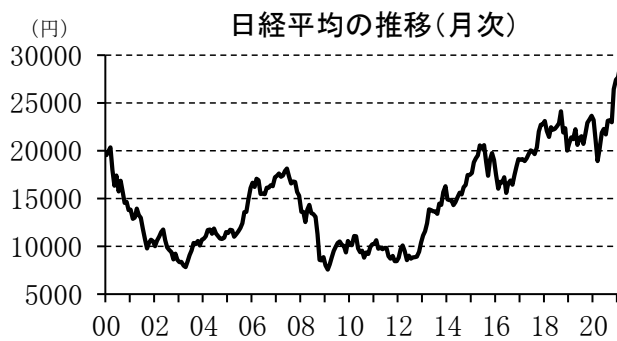
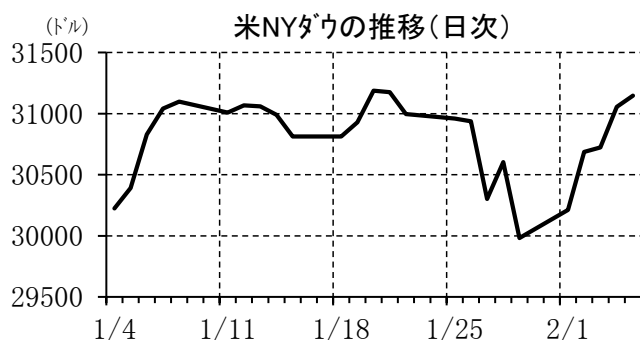
発表日	イベント	注目度	備考
2月8日(月)	—		
2月9日(火)	ユーロ：レーンECB理事講演 米国：トランプ前大統領弾劾裁判開始予定	★ ★★★★	
2月10日(水)	日本：中村日銀審議委員講演 ユーロ：ラガルトECB総裁講演 ユーロ：パネッテECB理事講演 米国：パウエルFRB議長講演	★★★★ ★ ★★★★	
2月11日(木)	中国：休場(春節、～2/17)		
2月12日(金)	—		
2月13日(土)	—		
2月14日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

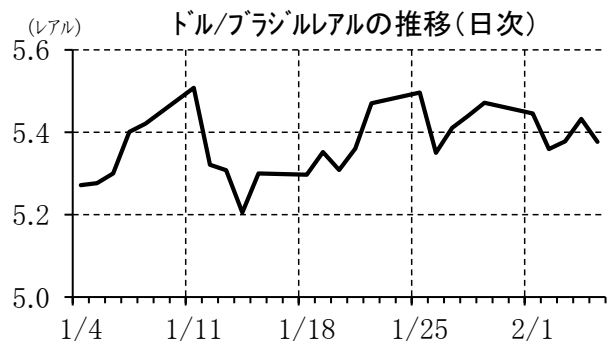
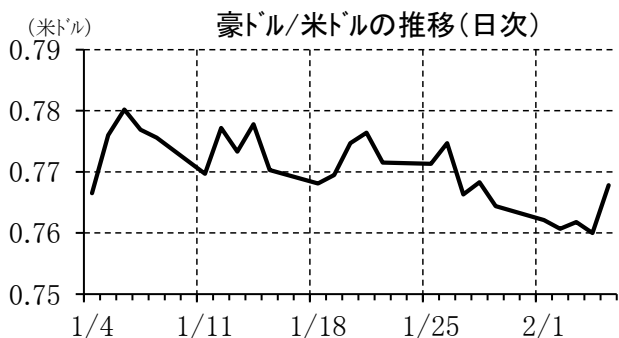
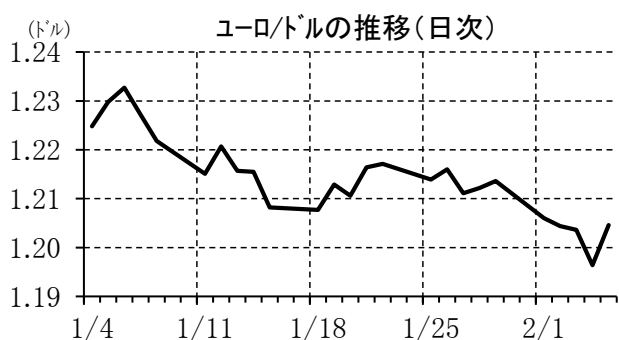
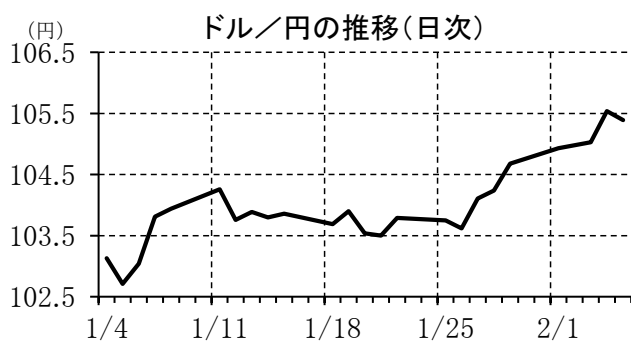
【債券利回り】



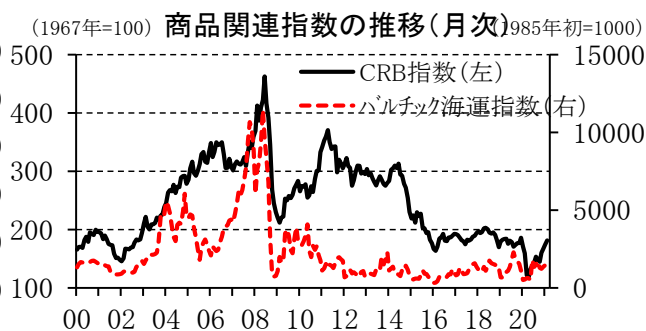
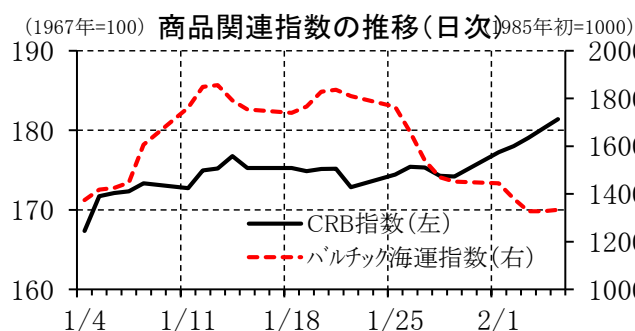
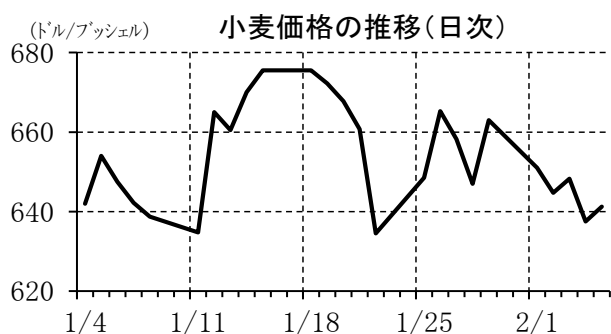
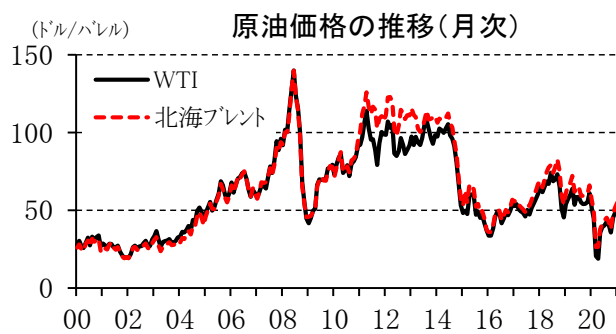
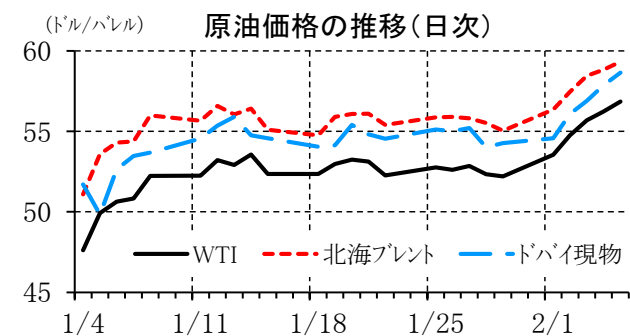
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。